

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

立春、暦の上では春！でも田の畦道にも春満開！！（バックは広大なビール麦畑）

『なずな』  
（実の形から別名ペンペン草）

平成21年2月4日  
朝倉郡筑前町曾根田  
大塚俊樹

## 生物進化と自然教育—1



## 熊海居人独言

#35

前号で紹介した、クマが実行委員長を務めた日本生物教育学会第86回福岡大会は、1月10日～11日に中村学園大学を会場にして行われた。全国から183名の参加者を迎えて盛会を持って終了した。地元福岡からは大会実行委員として高等学校の生物教師を始め、大学や小・中学校関係者を含めて35名が参加した。さらに、高校生のポスター発表には、地元・福岡の18校を含め27校が参加し、百数十名の生徒達が日頃の研究成果をポスターにして、大会参加者に熱弁をふるって説明していた。また、大会テーマ「身近な生きものに見る進化」に関する記念講演及びシンポジウムは一般公開で行ったが、植物友の会会員を始め生物進化に関心のある人々が多く参加されていた。

記念講演は九州大学理学研究院教授・矢原徹一氏にお願いした。話は”花はなぜ美しいか”から始まり、ホオノキやヤシャブシ、バラを例にして花の構造や分泌物、昆虫との関係などを具体的に展開されていた。次にガラパゴス諸島に生息するダーウィンフィンチにおける自然淘汰の例と適応進化の話に進み、最後に最も身近な生物である人の進化へと進展して行った。現生人類はようやく進化を始めたばかりであること、つまり本格的に人口が増え出したのは5万年前頃であり最適状態には達していないこと、淘汰圧が絶えず変化し続けていることなどを、具体的な例を挙げながら説明された。つまり、移住に伴う地理的変化＝人種の発生。例としてヨーロッパに北上した集団における環境適応の例＝皮膚の色、高緯度での生活適応、寒冷適応、食事への適応など。地球上の各地での農耕がもたらした環境への適応。文化の発達に対する適応例＝死亡率は低下したが、繁殖における個体差が発生。適応戦略としての病気に対する対応など。

現生人類は5万年前から進化を開始したばかりであり、動物界では例外的に高度な協調性が発達したヒトの、今後の進化はどのように展開するか。など、大変興味のある話を聴くことができた。

## ☆☆2月の夜空のイベント☆☆

- 今月はルーリン彗星
- 北西の空に
- 2/15には乙女座の一等星スピカの横
- 2/24には土星のすぐ横です
- ルーリン彗星は四等星の明るさなので、双眼鏡で観察できます
- また、2/20には金星が-4.6等星です。
- 情報提供は、中岡康二氏です。



## ※※※事務局からのお知らせ※※※

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎月掲載しています。  
（<http://www.kurabird.com/>（自然案内舎(有)クラブードHP）のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。）

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい（連絡先は、会報奥付をご覧ください）。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

**※お願い** 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

# ～背振雪景～

撮影：池田友行



～气象台レーダー遠景～



～樹木～



～山頂～

## これは何だろう!?



☆これは何だか解かりますか?☆

※ヒント※

お鍋のあとは、いきもののお勉強?

☆前回(162号)の解答☆

シダの仲間ハナヤスリ科のフユノハナワラビの胞子葉でした。

山里の日当たりのよい草地などで見られます。

これを見つけると、なぜかほっこりとした気分になります。

秋に緑色の栄養葉を展開し、秋から冬に胞子をつけた葉が地上部に出てきてこの胞子葉が花に相当するのでこの名があるようです。

春に食べるワラビとはぜんぜん似ていません。山溪の野草の名前によると、シダという意味でワラビというように書いてありました。

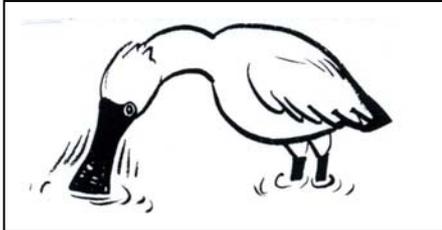
**日本野鳥の会福岡支部 主催**

※参加費：100円（中学生以下無料）

2/15（日）3/15（日）  
 天拝山探鳥会（筑紫野市）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：天拝山歴史自然公園  
 問合せ：092-920-7112（山本勝）

2/28（土）3/28（土）  
 久末ダム探鳥会（福岡町）  
 時間：8:00～11:00  
 集合：久末ダム多目的広場横駐車場  
 （管理事務所下）  
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

3/1（日）  
 今津探鳥会（福岡市西区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：玄洋高校西側道路  
 問合せ：092-891-9005（神園道男）

**日本野鳥の会筑後支部 主催**

※参加費：100円（中学生以下無料）



2/22（日）  
 濃施山公園（みやま町）  
 時間：9:00～  
 集合：公園内すいせん橋  
 0944-58-1672（野田）

**福岡植物友の会 主催**

2月の予定は下記へ  
 092-947-6536（大吉博子）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

3/14（土）  
 簡保跡地周辺（津古三沢の森）  
 小郡市埋蔵文化財調査センター前  
 時間：9:30～12時30頃  
 問合せ：092-920-3072（松永）

要：保険料  
 三国丘陵  検索 ですぐにヒットし  
 ます。  
 署名活動にご協力をお願いします。

**和白干潟を守る会 主催**

2/28（土）  
 守る会定例会議  
 時間：10:30～12:30  
 集合：和白干潟を守る会事務所  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2/28（土）  
 クリーン作戦 と自然観察会  
 時間：15:00～17:00  
 集合：海の広場 駐車場なし  
 長靴・軍手があると便利  
 問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

2/15（日） 第367回例会  
 草木染め  
 茶色や緑の木の皮や草から、布地がさまざま  
 な色に染まります。この意外性を楽  
 しみましょう。雨天中止  
 時間：13:30～16:00  
 集合：未定 参加費：400円  
 持ち物：エプロン  
 問合せ：0942-46-8622（古賀）

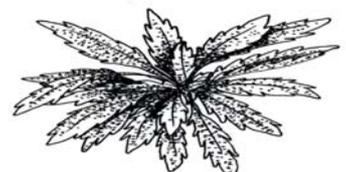
**福岡市油山自然観察の森 主催**

※往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・  
 電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

2/24（日）  
 も～も～ランドでバードウォッチング  
 森の中だけでなく牧草地にいる鳥の  
 ようすなども観察します。  
 時間：10:00～13:00  
 対象：一般  
 申込み：不要  
 定員：なし  
 集合：も～も～ランド中央広場

3/1（日）  
 椿まつり 森のクラフト工房  
 木の実や小枝などを使って、小さな置  
 物など、自由に作品を作ります。  
 時間：9:30～13:00  
 （受付終了は12:30）  
 対象：一般  
 申込み：不要  
 定員：なし  
 集合：市民の森中央広場

問合せ：油山自然観察センター  
 参加費：1000円  
 〒811-1355  
 福岡市南区桧原夫婦石 855-1  
 TEL：092-871-2112  
 開館9:00～16:30（月曜休館）



オオアレチノギク  
 ロゼット

# 2009九州環境教育ミーティングin久住高原

# 開催要項

大分県が県主催事業として平成9年から実施してきた「久住高原環境教育ミーティング(略称:“久住ミーティング”)」は、平成11年3月に行われた第3回をくぎりとして終了した。それは、大分県が5ヶ年計画(平成6年度～10年度)ですすめてきた「地球にやさしい村事業(対象地:久住町)」の一環として“久住ミーティング”も展開されてきたが、地球にやさしい村事業が平成11年3月で終了したことによる。

そこで、これまでの大分県主催の久住高原環境教育ミーティングの歴史を引き継ぐとともに、新たに民間主体(主に“久住ミーティング”により培われた九州の環境教育に関心や興味を持つ団体・個人のネットワーク)による実行委員会を発足(設立主旨および規約参照)させ、独自の考えに基づいて「2009九州環境教育ミーティングin久住高原」を下記のとおり実施する。

## 記

### 1. コンセプト(1)“ゆるやかで実りのあるネットワーク”の構築

原則として九州地域を中心とする環境教育に関心、興味を持つ団体・個人のゆるやかで、かつ実りのあるネットワークの構築をめざす。

### (2)“多様な立場”の人々が共存できる“開かれた環境教育の場”の創造

多様な組織(市民グループ、学校、行政、企業など)や多様な個人(例えば新人からベテランまで)に常に開かれたミーティングをめざす。

### (3)“ニュートラル”の保持

多様な価値観の人々が集い、しかも互いの価値観を認め合えるような交流や研修の場を実現するためにも、ミーティング全体としては様々な意味において、常にニュートラルな立場の保持をめざす。

### 2. 事業名 : 2009九州環境教育ミーティング in久住高原

### 3. 期 日 : 平成21年3月7日(土)12時から受付・8日(日)1泊2日12時解散

### 4. 会 場 : 大分県竹田市久住町 国民宿舎 久住高原荘

### 5. 対象:環境教育・地域づくりに興味のある社会人・大学生 原則として満18才以上

### 6. 参加費:一般及び実行委員13,000円、学生11,000円 宿泊費、食費、保険、資料代等を含む

### 7. 申込み締め切り:2009年2月20日(水)必着

8. 日程:3月7日(土)	12:00	受 付
	13:00	開会式
	13:15	全体会① 話題提供
	14:30	分科会①
	20:30	全体交流会 郷土民謡「久住高原」 地元グループ
3月8日(日)	8:30	分科会②
	10:00	全体会②まとめのフォーラム&意見交換会
	11:45	閉会式
	12:00	解散

### 9. お問い合わせ・お申し込み先:大会本部事務局

〒870-0804 大分県大分市御幸町16-1

NPO法人緑の工房ななぐらす気付

TEL:090-8762-3344(事務局長:葛西満里子)

FAX:097-536-6665

E-MAIL:[nanagurasu@yahoo.co.jp](mailto:nanagurasu@yahoo.co.jp)

## 10. 分科会内容

### 【第1分科会】”受け継ごう、ばあちゃん の技・味・心”

久住のおばあちゃんたちから“伝承料理”を学び、食にまつわる話を聞きましょう。今の私たちに欠けているものは何なのか…。代々受け継がれるべき大切な食を体験することで“持続可能な食”が見えてきます。

### 【第2分科会】 ふるさとの自然環境の保全～持続可能な環境保全の仕組みを考えよう！～

久住の自然は人の手〔農業〕によって守られてきました。久住の自然を守っていくには“元気な農業”が欠かせません。また、来訪者による自然破壊も深刻になっています。この二つを同時に解決して、さらに、若者たちが住みたくなる“ふるさとづくり”を目指しこのテーマを考えていきます。

### 【第3分科会】

#### 農業とグリーツーリズム ～持続可能な運営をGT体験しながら考えよう！～

広大な草原で久住の風を感じて下さい。

～山を見る、森に入る、山に登る、草花を観る、釣をする、野菜の手入れや収穫、写真をとる、木工に挑戦する、ひるねをする、ポーっとのんびりする・・・～あなたならどれを択ぶ？

このミーティングでは、もの作り、写真、料理など体験しながら持続可能なGTを考えます。夕食は自分達で収穫したシイタケで作る料理ですよ～。

### 【第4分科会】生き物も元気な“ふるさとづくり”～「生物多様性」を体感できる人づくりを考えよう！～

“持続可能なふるさとづくり”を支えるのは、地域資源のなかで一番基本となる自然、なかでもそこに住む豊かな種類の生きもたち（＝生物多様性）でしょう。このことが判る「ふるさとづくりを支える人づくり」について、楽しく、わかりやすい工夫をこらして考えていきます。

### 【第5分科会】廃校で、ふるさとを楽しみ、学ぼう、盛り上げよう！！

地域の空いている施設を再利用し、地球の資源を生かした“持続可能なふるさとづくり”について、事例を交えながら楽しく、深く、考えましょう！！

### 【第6分科会】ESD＝持続可能な開発のための教育を学んで、使う。

Education for Sustainable development＝持続可能な開発のための教育は、実は“持続可能な地域づくり”のための教育手法です。みんなで楽しく学んで、かた～く（？）、考えましょう。

### 【第7分科会】「企業と持続可能なふるさとづくり」～企業とわたしたちとのお見合い～

持続可能なふるさとづくりの担い手・役割として、私たちと企業とのかかわり方を考えていきます。当分科会では、それぞれの立場からのディスカッションを通して、場作り「価値観のすり合わせ＝お見合い」をしたいと思います。その先に見えるものは…。

## 11. 実施形態：(1)主催：九州環境教育ミーティング実行委員会

(2)共催：(社)日本環境教育フォーラム、

(3)後援(予定)環境省九州地方環境事務所・林野庁九州森林管理局・(財)日本鳥類保護連盟・

(財)日本野鳥の会・(社)日本ネイチャーゲーム協会・(財)日本自然保護協会・

(社)日本ナショナル・トラスト協会・日本環境教育学会・日本野外教育学会・

日本野生生物教育研究会・全国愛鳥教育研究会・大分県・大分県教育委員会・竹田市・福岡県・佐賀県・

長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県・福岡県教育委員会・佐賀県教育委員会・長崎県教育委員会

・熊本県教育委員会・宮崎県教育委員会・鹿児島県教育委員会・沖縄県教育委員

# 受け継ぐと言う事について

中岡 康二

今日（2/2）の西日本新聞のコラム(春秋)から、博多芸妓さんの事がありました。

かつては千人以上いた博多芸妓は今は二十人余。博多券番で二年前、見習い修業を始めた人が三人いた、七年ぶりの新人さんだった。その一人が十九歳の女性で芸事の手ほどきした奴さんは券番を支える八十三歳。舞の師匠は「教える『かた』に『ち』をつけて『かたち』にするのは芸妓の器量」「芸に終わりはありません」

今、自然環境についてですが、私の所属する集まりにおいて現状をかえりみた時、とても危機的のを感じます。春は花粉、黄砂等の問題があり、夏は暑い熱射病等の問題、秋はスズメバチ等の問題、冬は寒いインフルエンザ等の問題があります。また、十年前ぐらいは五月の愛鳥週間にはいろいろマスコミ(テレビやラジオや雑誌)や各市町村での自然観察会のイベント等が行われていて一般の方々にも広報されていました、参加者も多くありましたけど、今はどうでしょう？

この時期での筑後K地域の観察会では、野鳥だけでなく野草や昆虫等の詳しい方々が一緒に参加されていますから自然観察に対する面白みや興味をよりいっそう深めるように考えてあります。それでもリピーターはあまり期待できません。

以前、大牟田においての自然観察会で、11月に野草中心の観察会になり、初心者の方々に野草の花がない時期に野草の葉っぱだけで野草の種類を一方向的に喋ってあり、参加されたみなさんは少し呆れ果ててありました。その観察会に、後からA氏（O市の環境アドバイザー）が見えられ、私に「いろいろ言うんですけどさっかんけん言わない」と言われました。11月中旬は野鳥の会がバードウォッチングウィークを催しています。その事を理解しているとは思いますが、せっかくの野鳥についての知識を無駄にされました。その時、私もそのA氏も識別できなかった野鳥がじっくり観察できました。（後でシマアオジのみと解りました。）

また自然観察会において図鑑を持参しない指導員がいます。理由はかさ張るから、自然観察会は識別だけするものではないからと言う意見でした。自然環境は野草だけ、野鳥だけ昆虫だけ生息している訳ではありません。一般の方々へ自然環境の素晴らしさや美しさ等を後世に伝え受け継ぐためにも、自然環境の有識者としては専門外の感性・知識等が必要と考えます。偏っただけの知識だけでは進化できないものと考えます。自然環境の知識を持つ事は自慢する事でも名前を売る事でもありません。

私は自然観察会に参加して一般の参加者の方々が可哀相と思いました。

また、一昨年、有明海にある人工島にレッドデータのベニアジサシが飛来しているから人工島保全を訴えていました。最初、ベニアジサシの事を公表すると環境が荒らされるからと言ってありましたけど、海の上にある人工島に行くには船がないと行けません。大牟田市民皆さん、船を所有していません。人工島で魚つりのために上陸される方がいらっしやいます、だったらその方々だけにベニアジサシの説明等をすればいいと考えます。またベニアジサシのために人工島を作った訳ではありません、だったらこの人工島を大牟田市民ために有効利用する開発の時にベニアジサシ等の自然環境に配慮してもらう提言をするべきと考えます。

役所の環境保全課の職員の方に以前、私に「バードウォッチングは難しい、野鳥の名前を覚えないといけないから」と言われましたけど、いったい誰が覚えろと言ったのでしょうか？その方とはそれっきりです。

また、大牟田ではイベント好きな野外団体がいくつもありますが、その大半以上が自然環境についての知識が乏しく、楽しければいいと言う考えのもとで騒動し物で参加者を募るやり方をされています。

みなさん、どう思われます？



## 冬山の風景を楽しむ会員の堀さん

**大雪を楽しむ気持ちが、大切ですね。**

**日頃の風景が一変した三郡山の様子を一人？で**

**楽しむ様子を投稿していただきました。**



## 雪が降ると

田字草

雪が降ると、普段観ることができない風景や生きものに出会うことができます。1月の雪では、久しぶりの雪だるま、ノウサギの足跡  
福岡で初めて  
キツネにも



出会うことができました。

雪の降りしきる中での野鳥観察も体験しました。雪の中、野鳥たちは動き回っていました。きっと、雪の中食べ物探しで、大変な苦勞をしているんだろうなあと思いつつ、観察していました。湿った雪が、木の枝に積もり、大きくしなっている杉や檜、それにタブやクスノキ、もう少しすると折れてしまうような風景にも出会いました。でもこの雪が油山の森に積もり、乾いた冬の森に水分をもたらしてくれたようです。



四季おりおりの季節を受け入れて、楽しむ感覚を、次世代へつなげたいと思いました。

## ☆☆☆行事案内☆☆☆

～ 冬の田んぼの観察会 ～ 『クリークは佐賀平野の里山』  
佐賀平野の稲作文化とクリークについて考える第9回の『田んぼの観察会』  
2009年2月22日(日)9時から11時まで  
場所：佐賀市大和町福島 妙見神社～佐賀市ゴミ焼却場付近  
集合は スーパーニコー大和店駐車場  
担当 増田英治 090-9655-0474  
主催 ネイチャー佐賀/自然観察指導員佐賀県連絡会



### ◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

#### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

年会費:2000円

#### 皆に知らせたいことはありませんか?

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。

皆さん情報をお待ちしています。

#### 定例会に参加してみませんか?

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおしを心よりお待ちしております!

次回の定例会は、2009年3月13日(金)午後6時より事務局で行います。3月号の原稿は、3/7(土)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

#### 他団体の会報の紹介

- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第94号 09. 2. 01
- ・ネイチャー佐賀 会報 38号 09. 01. 05
- ・福岡植物友の会 あすなろ第43号 平成21年1月
- ・福岡植物友の会 会報 平成21年2月号 第50巻
- ・福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信 vol.44 Winter 2009
- ・プロ・ナトゥーラ・ファンド 第17期助成成果報告書 2008年11月 (財)自然保護助成基金 (財)日本自然保護協会
- ・NPO法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 No. 150 / 2009年2月1日

【プロ・ナトゥーラ・ファンド 第17期助成成果報告書からの紹介】

◎国内研究助成は11の報告が掲載されています。

風力発電事業における希少猛禽類の影響調査や宮崎県綾町における市民参加による照葉樹林と針葉樹人工林の沢環境の比較と地域環境管理への提言など。

◎国内活動助成6つの報告が掲載されています。IBA(重要野鳥生息地)保護保全ハンドブックの作成など。

お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表: 冷川昌彦/事務局長: 小野 仁/

編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計: 宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765

URL: <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 2009年1/9定例発送会は、山本勝・藤川渡・鶴田義明・大塚俊樹・田村耕作が参加。YFから抹茶葛湯の素と餡、KTからミカン入りと栃の実入りの餅の差し入れあり。一月は2度も大雪があり、雪があればその自然のおもしろさがありました。ノウサギの足跡、真っ白な棚田で見かけた

狐などです。皆さんはいかがですか。福岡では滅多にない機会でした。

田字草

